

# KODEX200 ETF (069500)

## 基本情報

ETF名	サムスン KODEX200 ETF
ベンチマーク	KOSPI 200
信託報酬	年間 0.35%
当初設定日	2002年10月11日
運用会社	サムスン資産運用
受託会社	HSBCソウル支店

## 取引情報

取引所	韓国取引所 (KRX)
通貨	ウォン
売買単位	1株
設定単位	100,000株
KRXティッカー	069500
ISINコード	KR7069500007
ブルムバーグ	069500 KS <EQ>

## ファンドの概要

### 1. 投資目的と特徴

KODEX200はKOSPI200（韓国株式市場を代表する株価指数）のパフォーマンスへの連動を目指します。

KODEX200は韓国最大で韓国取引所に初めて上場されたETFです。また、アジアで最高レベルの成長が見込まれる韓国株式市場の全体に投資できる最も有効な投資方法です。

(\*KODEX200は純資産額 (NAV) 27億米ドル規模の韓国最大のETFです。データ: 韓国取引所 (KRX)、2012年5月30日現在)

### 2. ベンチマークの概要

KOSPI200は株価指数先物・オプション取引の原資産指数であり、韓国取引所 (KRX) の上場銘柄から選ばれた200の銘柄で構成されています。銘柄選定の基準は流動性の高さ、市場及びセクターにおける重要度です。

KOSPI200は浮動株調整時価総額加重平均型の指数で、1990年1月3日を100(ベース指数)として1994年6月15日から算出公表されています。

KOSPI200の指数はKRXのホームページで2秒毎に更新発表されます。同ページの「KRX Review (Web版)」などで日次、月次、年次の統計データ (1990年1月3日以降) が閲覧できます。

### 3. 組入上位10銘柄と純資産額に占める割合

銘柄名	割合 (%)
サムスン電子 (Samsung Electronics)	22.05
ヒュンダイモーター (Hyundai Motor)	5.85
ポスコ (POSCO)	4.28
起亜自動車 (Kia Motors)	3.21
ヒュンダイモービス (Hyundai Mobis)	3.11
新韓金融グループ (Shinhan Financial Group)	2.63
LG化学 (LG Chem)	2.45
SKハイニックス (SK Hynix)	2.12
KB金融グループ (KB Financial Group)	2.11
現代重工業 (Hyundai Heavy Industries)	2.01

※ 組入銘柄は変更されることがあります。

## パフォーマンスの推移と投資分配金（2012年6月27日現在）

### 1. パフォーマンスの推移

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	3年	4年	5年	当初設定日以降
<b>Kodex200</b>	-0.82%	-11.26%	0.69%	-10.57%	9.39%	39.74%	18.59%	18.10%	298.26%
<b>ベンチマーク(KOSPI200)</b>	-0.72%	-11.40%	-0.39%	-11.64%	6.30%	33.79%	11.77%	8.85%	224.74%
<b>超過リターン</b>	-0.09%	0.14%	1.08%	1.07%	3.08%	5.95%	6.82%	9.25%	73.53%

※ 表のKODEX200のパフォーマンスは投資分配金が再投資されたと仮定された場合の数値です。



※ チャートのKODEX200のパフォーマンスは投資分配金を除いた税引き前の数値です。これは将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

### 2. 分配金

(1株当たり、ウォン)

No	支払基準日	1株当たり投資分配金	No	支払基準日	1株当たり投資分配金
01	2003-04-30	220	12	2007-07-31	250
02	2003-07-31	5	13	2007-10-31	50
03	2004-04-30	210	14	2008-04-30	400
04	2004-10-31	55	15	2008-07-31	15
05	2005-04-30	205	16	2009-04-30	200
06	2005-10-31	10	17	2009-07-31	50
07	2006-01-31	50	18	2010-04-30	300
08	2006-04-30	275	19	2010-07-30	50
09	2006-07-31	30	20	2011-04-29	400
10	2006-10-31	30	21	2011-07-29	50
11	2007-04-30	400	22	2012-04-26	310

本資料はファンドの展望や投資戦略に関する情報の提供を目的としており、金融商品の宣伝や投資勧誘が目的ではありません。また、信頼しうる資料及びデータをもとに作成しておりますが、本資料のいかなる内容も将来の収益を保証するものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさいますようお願いいたします。結果として損失が発生しても責任は一切負いかねます。投資信託商品は預金者保護法による保護の対象ではありません。運用の結果発生する損益は全て投資家が負われることとなります。過去の収益は将来の結果を保証するものではありません。